

## 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

### 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療情報管理科	学 年	1学年		
科目名	コミュニケーションスキルⅠ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	一般目標				
	資格を活かし、病院等へ就職が決定するまで意識を高めるように取り組む。				
	到達目標				
	テキスト・面接対策ビジネスマナーを使用して、社会人としてのルールや医療従事者として心構えを学ぶ。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	入学後の学校生活について	11	1 4、言葉遣い（敬語を身につけよう） 1 5、言葉遣い（話の仕方、聞き方）
2	1、社会人になるとは 2、なぜ働くのか	12	1 6、言葉遣い（敬語の基本） 1 7、（間違えやすい敬語）
3	3、学生生活と社会人生活の違い 4、社会人としての心構え	13	1 8、電話応対（正しい電話応対） 1 9、電話応対（電話応対の注意点）
4	5、社会人としての求められる資質 6、職場の基本的なマナー	14	Ⅲ、電話応対について・まとめ・練習問題①
5	7、社会人としてのふさわしい身だしなみ	15	Ⅲ、電話応対について・まとめ・練習問題②
6	1、社会人になるとは？まとめ・練習問題	16	2 0、電話応対（電話の受け方） 2 1、電話応対（電話のかけ方）
7	8、基本動作（立つ姿勢） 9、基本動作（お辞儀の仕方）	17	施設見学前ガイダンス
8	1 0、基本動作（椅子の立ち座り） 1 1、基本動作（歩き方）	18	施設見学前事前研修
9	1 2、基本動作（表情） 1 3、基本動作（発生練習）	19	施設見学前事前研修
10	Ⅱ、基本動作について・まとめ・練習問題	20	期末考査（一般常識問題集より）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	施設見学	31	自己PRの書き方攻略方法① (性格や特徴、長所など)
22	施設見学	32	自己PRの書き方攻略方法② (得意なこと、自慢できることなど)
23	施設見学	33	学生時代に力を入れたこと① (もっとも印象に残っていることなど)
24	施設見学関連 (まとめ)	34	学生時代に力を入れたこと② (苦労した経験、乗り越えた体験など)
25	施設見学関連 (報告会)	35	志望動機の書き方攻略方法① (入社して達成したいこと)
26	施設見学関連 (報告会)	36	職業観やビジョン、企業選択の基準
27	エントリーシートの役割を覚える①	37	自己PR作成のまとめ・問題
28	エントリーシートの役割を覚える②	38	志望動機作成・志望動機の作り方
29	履歴書の攻略方法① (丁寧な楷書で書く)	39	志望動機作成のまとめ
30	履歴書の攻略方法② (住所・学校名は略さず書く)	40	期末考査 (一般常識問題集より)

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業には休まず出席すること</li> <li>・ 就職前の準備として、社会人のマナーを身に付ける。</li> </ul>
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 一般常識チェック&マスター
<b>参考書</b> 面接対策&ビジネスマナー
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	コミュニケーションスキルII	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	資格を活かし、病院等へ就職が決定するまで意識を高めるように取り組む。				
	<b>到達目標</b>				
	自身の勤務先となる（病院、診療所、薬局、介護施設）等の、企業研究に取り組み早期に就職試験に取り組む準備をする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	履歴書作成・施設研究	11	施設訪問（一次面接）・施設訪問の準備
2	履歴書作成・施設研究	12	アポイントメントの取り方・訪問時のマナー等
3	履歴書作成・施設研究	13	就職試験対策（履歴書・面接等）
4	履歴書作成・施設研究	14	就職試験対策（履歴書・面接等）
5	履歴書作成・施設研究	15	就職試験対策（履歴書・面接等）
6	面接選考はなぜ行われるか・採用担当者の気持ちを考える	16	就職試験対策（履歴書・面接等）
7	面接試験の形式・面接の段階	17	就職試験対策（履歴書・面接等）
8	面接の目的のまとめ	18	就職試験対策（履歴書・面接等）
9	面接練習	19	就職試験対策（履歴書・面接等）
10	面接練習	20	期末考査（問題集より）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第1部 これが本当のSPI3だ！ ・SPIの種類 ・英語検査（ENG）とは ・構造的把握力検査とは	31	第3部 「非言語」完全攻略② 図表の読み取り P94～P101
22	第2部 これがSPI主要3方式の攻略法・テストセンターとは ・ペーパーテストとは	32	第3部 「非言語」完全攻略② 図表の読み取り P102～P107
23	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P33～P49	33	第3部 「非言語」完全攻略② 図表の読み取り P116～P123
24	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P50～P57	34	第3部 「非言語」完全攻略③ 集合 P124～P131
25	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P58～P63	35	文章検（文章読解・作成能力検定） 基礎力《語彙・文法》
26	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P50～P57	36	文章検（文章読解・作成能力検定） 読解力《読む力・意味内容・文章構成》
27	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P64～P71	37	文章検（文章読解・作成能力検定） 作成力《伝える力・文法》
28	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P72～P79	38	文章検（文章読解・作成能力検定） 作成力《総合・通信文》
29	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P80～P85	39	文章検（文章読解・作成能力検定） 作成力《総合・意見文》
30	第3部 「非言語」完全攻略① 推論 P86～P93	40	期末考査（問題集より）

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること ・就職前の準備として、社会人のマナーを身に付ける。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 一般常識&SPI12
<b>参考書</b> 面接対策&ビジネスマナー
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	ビジネス作法	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	太田 利佳	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療業務に関わらず、社会人としての所作・作法を理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	自身の勤務先となる（病院、診療所、薬局、介護施設）等の、企業研究に取り組み早期に就職試験に取り組む準備をする。				
回数	講義内容	回数	講義内容		
1	1、オリエンテーション マナーやプロトコールとは何か	11	11、ビジネスマナー 名刺交換、来客対応		
2	2、好感度を高めるポイント 第一印象、挨拶、表情、笑顔	12	12、通過儀礼とは何か		
3	3、言葉遣いと話し方のポイント 正しい敬語や丁寧な話し方	13	13、通過儀礼とは何か		
4	4、自己紹介をしてみる (笑顔、歩き方、姿勢、話し方練習)	14	14、結婚のしきたりとパーティーの種類		
5	5、プロトコールとは何か 5原則、席次、国旗、握手	15	15、葬儀のしきたりと贈答のしきたり		
6	6、プロトコールとは何か 異文化を知る	16	16、日本の年中行事 知識の確認、神社参拝の仕方		
7	7、和食のテーブルマナー 箸の使い方の練習	17	17、知識の総括		
8	8、洋食のテーブル カトラリーの使い方	18	18、まとめと総括		
9	9、手紙の書き方とビジネス文書 正式な手紙を書いてみる	19	19、模擬問題&解説		
10	10、ビジネスマナー 会社とは何か、社会人意識	20	20、期末考査		
<b>講義方法</b>					
プリントを配布 適宜、グループ学習					
<b>履修上の注意事項</b>					
・授業には休まず出席すること。					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
マナープロトコール検定のテキスト					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療情報管理科	学 年	1学年		
科目名	基礎医学	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	60
講師名	太田 利佳	単位時間数	90	単位数	3
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医学知識の基本を学習し、理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	Chapter 1 ①身体の方向・面・区分の表現方法	16	Chapter 3 ①心臓 6～7
2	Chapter 1 ①身体の方向・面・区分の表現方法	17	Chapter 3 ②血管
3	Chapter 1 ②人体の構成要素 1,細胞	18	Chapter 3 ③リンパ系
4	Chapter 1 ②人体の構成要素 2、ウイルス	19	Chapter 4 ①体液の成分と役割②血液の組成 1～2
5	Chapter 1 ②人体の構成要素 3、組織	20	Chapter 4 ②血液の組成 3～4
6	Chapter 2 神経系・感覚器 ①神経系1～3	21	Chapter 5 ①骨格系 1、骨 2、骨の疾患
7	Chapter 2 ①神経系 4～6	22	Chapter 5 ①骨格系 3、関節の種類と構造
8	Chapter 2 ①神経系 7～8	23	Chapter 5 ②運動を行う筋系
9	Chapter 2 ②感覚器 1、眼球の構造	24	Chapter 6 泌尿器系 ①腎臓・尿路の形態と機能1、糸球体の構造と働き
10	Chapter 2 ②感覚器 1、眼球の構造	25	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
11	Chapter 2 ②感覚器 2、眼の主な病気	26	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
12	Chapter 2 ②感覚器 3、耳の構造と機能	27	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 1、腎臓の疾患
13	Chapter 2 ②感覚器 4、聴覚障害	28	Chapter 6 ②腎、泌尿器疾患の病態 2、膀胱の疾患
14	Chapter 3 循環器系 ①心臓 1～3	29	Chapter 7 内分泌系 ①内分泌系の働き②内分泌臓器の分布と機能
15	Chapter 3 ①心臓 4～5	30	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 1、下垂体の疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
31	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 2、甲状腺の疾患	46	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 4、腸の疾患(1)(2)(3)
32	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 3、副腎の疾患	47	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 4、腸の疾患(4)(5)(6)
33	Chapter 7 ③内分泌臓器疾患の病態 4、膵島の疾患	48	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 5、肝臓の疾患(1)(2)
34	Chapter 8 呼吸器系 ①呼吸器の解剖	49	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 5、肝臓の疾患(3)(4)
35	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 1 上気道の疾患	50	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 6、胆道系の疾患
36	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 2、下気道の疾患	51	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 6、胆道系の疾患
37	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態3、肺にできる悪性腫瘍	52	Chapter10 生殖器系 ①女性生殖器 1、女性生殖器
38	Chapter 8 ②呼吸器疾患の病態 4、胸膜の疾患	53	Chapter10 ①女性生殖器 2、乳房(乳腺)
39	Chapter 9 消化器系 ①消化器の解剖と機能 1、消化管の機能および形態	54	Chapter10 ①女性生殖器 3、男性生殖器
40	期末試験	55	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(1)
41	Chapter 9 ①消化器の解剖と機能 2、肝臓、胆嚢、膵臓の構造	56	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(2)
42	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 1、口腔内の疾患	57	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(3)
43	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 2、食道の疾患	58	Chapter10 ②生殖器疾患の病体 1,女性生殖器の疾患(4)
44	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 3、胃の疾患(1)(2)	59	Chapter10 2、男性生殖器の疾患
45	Chapter 9 ②消化管疾患の病態 3、胃の疾患(3)(4)	60	期末試験
<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習			
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。			
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。			
<b>教科書</b> 基礎医学			
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし			

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	通年		
学 科	医療情報管理科	学 年	1学年		
科目名	薬学一般	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	一般目標				
	医療機関で行われる検査、使用する薬について学ぶ。				
	到達目標				
	保険請求などの医療事務の仕事に検査・薬理学を活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	Chapter1 検査の基礎基礎知識 1、検体検査と生理機能検査	11	Chapter8 ①病理組織学的検査の流れ
2	Chapter2 一般検査 ①尿検査 ②糞便検査	12	Chapter9 ①染色体検査②遺伝子検査
3	Chapter2 一般検査 ③髄液検査	13	Chapter10 生理機能検査 ①心機能検査②呼吸機能検査
4	Chapter3 血液検査 ①血液一般検査②血液像	14	Chapter10 ③脳波④筋電図
5	Chapter3 血液検査 ③血液凝固検査④骨髓像検査	15	Chapter10 ⑤超音波検査⑥その他の生理学的検査
6	Chapter4 生化学的検査1～5	16	◎薬理編 Chapter1 ①薬理学とは②医薬品とは
7	Chapter4 生化学的検査6～10	17	Chapter1 ③薬理作用の考え方④薬物投与法
8	Chapter5 ①免疫性疾患・感染症の検査②アレルギー検査	18	Chapter2 末梢神経系 ①末梢神経系の生理②主な作用薬
9	Chapter6 ③自己免疫性疾患④細胞性免疫検査	19	Chapter3 中枢神経作用薬 ①中枢神経系の生理
10	Chapter7 微生物検査	20	Chapter3 ②主な作用薬

回数	講義内容	回数	講義内容
21	Chapter4消化器系疾患に用いる薬 ①消化器系の生理	31	Chapter11 貧血および血液系疾患治療薬
22	Chapter4 ②主な作用	32	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬①
23	Chapter5 循環器系疾患に用いる薬 ①循環器系の生理	33	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬②
24	Chapter5 循環器系疾患に用いる薬 ②主な作用薬	34	Chapter12 感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬③
25	Chapter6 代謝系疾患に用いる薬	35	Chapter13 輸液製剤①
26	Chapter7 呼吸器系疾患作用薬	36	Chapter13 輸液製剤②
27	Chapter8 アレルギー性疾患治療薬	37	Chapter13 輸液製剤③
28	Chapter9 抗炎症薬	38	疾患別検査一覧表
29	Chapter10 抗炎症薬	39	期末試験対策授業
30	Chapter11 貧血および血液系疾患治療薬	40	期末考査試験

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 検査・薬理学
<b>参考書</b> 特になし
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし

## 講義要項（シラバス）

年度	2019年度	時期	通年		
学科	医療情報管理科	学年	1学年		
科目名	医事ソフトⅠ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	80
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	120	単位数	4
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医事会計システム基本入力の理解				
	<b>到達目標</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スムーズな会計入力</li> <li>・会計ソフトの役割を理解し活用できるようになる。</li> </ul>				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	タッチタイピング①	16	・例題 9 の内容説明 ・例題 9 の入力
2	タッチタイピング②	17	・例題 1 0 の内容説明 ・例題 1 0 の入力
3	タッチタイピング③	18	・例題 1 1 の内容説明 ・例題 1 1 の入力
4	医事ソフトの基本操作①	19	・例題 1 2 の内容説明 ・例題 1 2 の入力
5	医事ソフトの基本操作②	20	・例題 1 3 の内容説明 ・例題 1 3 の入力
6	・例題 0 - 1 の内容説明 ・例題 0 - 1 の入力	21	・例題 1 4 の内容説明 ・例題 1 4 の入力
7	・例題 0 - 2 の内容説明 ・例題 0 - 2 の入力	22	・例題 1 5 の内容説明 ・例題 1 5 の入力
8	・例題 1 の内容説明 ・例題 1 の入力	23	・例題 1 6 の内容説明 ・例題 1 6 の入力
9	・例題 2 の内容説明 ・例題 2 の入力	24	・例題 1 7 の内容説明 ・例題 1 7 の入力
10	・例題 3 の内容説明 ・例題 3 の入力	25	・例題 1 8 の内容説明 ・例題 1 8 の入力
11	・例題 4 の内容説明 ・例題 4 の入力	26	・例題 1 8 の内容説明 ・例題 1 8 の入力
12	・例題 5 の内容説明 ・例題 5 の入力	27	・例題 1 9 の内容説明 ・例題 1 9 の入力
13	・例題 6 の内容説明 ・例題 6 の入力	28	・例題 2 0 の内容説明 ・例題 2 0 の入力
14	・例題 7 の内容説明 ・例題 7 の入力	29	・例題 2 1 の内容説明 ・例題 2 1 の入力
15	・例題 8 の内容説明 ・例題 8 の入力	30	・例題 2 2 の内容説明 ・例題 2 2 の入力

回数	講義内容	回数	講義内容
31	・例題 2 3 の内容説明 ・例題 2 3 の入力	56	・例題 4 2 の内容説明 ・例題 4 2 の入力
32	・例題 2 4 の内容説明 ・例題 2 4 の入力	57	・例題 4 3 の内容説明 ・例題 4 3 の入力
33	・例題 2 5 の内容説明 ・例題 2 5 の入力	58	・例題 4 4 の内容説明 ・例題 4 4 の入力
34	・例題 2 7 の内容説明 ・例題 2 7 の入力	59	・例題 4 5 の内容説明 ・例題 4 5 の入力
35	・例題 2 8 の内容説明 ・例題 2 8 の入力	60	・例題 4 6 の内容説明 ・例題 4 6 の入力
36	前期総復習①	61	・例題 4 7 の内容説明 ・例題 4 7 の入力
37	前期総復習②	62	・例題 4 8 の内容説明 ・例題 4 8 の入力
38	前期総復習③	63	・例題 4 9 の内容説明 ・例題 4 9 の入力
39	前期総復習④	64	・例題 5 0 の内容説明 ・例題 5 0 の入力
40	前期期末考査	65	・例題 5 1 の内容説明 ・例題 5 1 の入力
41	・例題 2 9 の内容説明 ・例題 2 9 の入力	66	・例題 5 2 の内容説明 ・例題 5 2 の入力
42	・例題 2 9 の内容説明 ・例題 2 9 の入力	67	・例題 5 3 の内容説明 ・例題 5 3 の入力
43	・例題 3 0 の内容説明 ・例題 3 0 の入力	68	・例題 5 4 の内容説明 ・例題 5 4 の入力
44	・例題 3 1 の内容説明 ・例題 3 1 の入力	69	例題 1 ～ 1 0 入力
45	・例題 3 2 の内容説明 ・例題 3 2 の入力	70	例題 1 1 ～ 2 0 入力
46	・例題 3 3 の内容説明 ・例題 3 3 の入力	71	例題 2 1 ～ 3 0 入力
47	・例題 3 4 の内容説明 ・例題 3 4 の入力	72	例題 3 1 ～ 4 0 入力
48	・例題 3 5 の内容説明 ・例題 3 5 の入力	73	例題 4 1 ～ 5 0 入力
49	・例題 3 6 の内容説明 ・例題 3 6 の入力	74	例題 5 1 ～ 5 4 入力
50	・例題 3 7 の内容説明 ・例題 3 7 の入力	75	後期総復習①
51	・例題 3 8 の内容説明 ・例題 3 8 の入力	76	後期総復習②
52	・例題 3 9 の内容説明 ・例題 3 9 の入力	77	後期総復習③
53	・例題 4 0 の内容説明 ・例題 4 0 の入力	78	後期総復習④
54	入院の入力方法	79	後期総復習⑤
55	・例題 4 1 の内容説明 ・例題 4 1 の入力	80	後期期末考査

<b>講義方法</b>
講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。
<b>講義で使用する機器・教材</b>
医事会計システム、プロジェクター、スクリーン、PC
<b>履修上の注意事項</b>
・授業には休まず出席すること。
<b>成績評価方法</b>
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b>
入力練習問題集
<b>予習復習のアドバイス</b>
特に予習復習なし 点数算定について正確に行い、日計処理などの不明点はそのままにせず、授業時間内、又は休み時間に確認すること。

## 講義要項（シラバス）

年度	2019年度	時期	通年		
学科	医療情報管理科	学年	1学年		
科目名	医療事務Ⅰ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	60
講師名	太田 利佳	単位時間数	90	単位数	3
講義目標	一般目標				
	診療報酬点数を理解する。				
	到達目標				
	診療報酬点数を理解し、会計計算ができるようになる。 レセプト点検できるようになる。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	初診料とは	16	検査・病理診断の練習問題 解答解説
2	初診料・再診料の練習問題	17	画像診断とは①
3	初診料・再診料の練習問題	18	画像診断とは②
4	初診料・再診料の練習問題 解答解説	19	画像診断とは③
5	入院料とは①	20	画像診断の練習問題
6	入院料とは②	21	画像診断練習問題 解答解説
7	入院料の練習問題	22	投薬とは①
8	入院料の練習問題 解答解説	23	投薬とは②
9	医学管理料・在宅医療とは①	24	投薬の練習問題
10	医学管理料・在宅医療とは②	25	投薬の練習問題 解答解説
11	医学管理料・在宅医療練習問題	26	注射とは①
12	医学管理料・在宅医療練習問題 解答解説	27	注射とは②
13	検査とは①	28	注射の練習問題
14	検査とは② 病理診断とは	29	注射の練習問題 解答解説
15	検査・病理診断の練習問題	30	リハビリ・精神科専門療法とは①

回数	講義内容	回数	講義内容
31	リハビリ・精神科専門療法とは②	46	初診料～手術麻酔の総復習④
32	リハビリ・精神科療法練習問題	47	初診料～手術麻酔の総復習⑤
33	リハビリ・精神科療法練習問題 解答解説	48	手書きレセプトの書き方（外来）①
34	処置とは①	49	手書きレセプトの書き方（外来）②
35	処置とは②	50	手書きレセプトの書き方（入院）①
36	処置の練習問題	51	手書きレセプトの書き方（入院）②
37	処置の練習問題 解答解説	52	手書き外来練習問題 カルテ 3
38	手術とは①	53	カルテ 3 の解答解説
39	手術とは②	54	手書き外来練習問題 カルテ 4
40	麻酔とは	55	カルテ 4 の解答解説
41	手術麻酔の練習問題	56	手書き外来練習問題 カルテ 5
42	手術麻酔の練習問題 解答解説	57	カルテ 5 の解答解説
43	初診料～手術麻酔の総復習①	58	手書き外来練習問題 カルテ 6
44	初診料～手術麻酔の総復習②	59	カルテ 6 の解答解説
45	初診料～手術麻酔の総復習③	60	期末考査試験
<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習			
<b>講義で使用する機器・教材</b>			
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。 ・教科書はラインを引くなど、重要ポイント・用語が分かりやすいように、自分なりに作り上げること。 ・理解できない部分については質問をし、その日のうちに解決すること。			
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。			
<b>教科書</b> 医科診療点数早見表			
<b>参考書</b> 特になし			
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習なし 復習を行い、難しい用語、点数算定は正確にできるようその都度習得すること。			

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	1学年		
科目名	医療事務演習Ⅰ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	60
講師名	太田 利佳	単位時間数	90	単位数	3
講義目標	<b>一般目標</b>				
	検定試験 レセプト点検問題のコツをつかみ、効率よく点検できるようになる。				
	<b>到達目標</b>				
	医療事務技能審査試験 レセプト問題合格				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	レセプト点検作業手順①	16	点検レセプト外来 カルテ 6
2	レセプト点検作業手順②	17	カルテ 6 の解答解説
3	レセプト点検作業手順③	18	点検レセプト外来 カルテ 7
4	レセプト点検作業手順④	19	カルテ 7 の解答解説
5	レセプト点検作業手順⑤	20	点検レセプト外来 カルテ 8
6	点検レセプト外来 カルテ 1	21	カルテ 8 の解答解説
7	カルテ 1 の解答解説	22	点検レセプト外来 カルテ 9
8	点検レセプト外来 カルテ 2	23	カルテ 9 の解答解説
9	カルテ 2 の解答解説	24	点検レセプト外来 カルテ 10
10	点検レセプト外来 カルテ 3	25	カルテ 10 の解答解説
11	カルテ 3 の解答解説	26	点検レセプト外来 カルテ 11
12	点検レセプト外来 カルテ 4	27	カルテ 11 の解答解説
13	カルテ 4 の解答解説	28	点検レセプト外来 カルテ 12
14	点検レセプト外来 カルテ 5	29	カルテ 12 の解答解説
15	カルテ 5 の解答解説	30	点検レセプト外来 カルテ 13

回数	講義内容	回数	講義内容
31	カルテ13の解答解説	46	過去問題4月分 ①②
32	点検レセプト外来 カルテ14	47	過去問題4月分 ①② 解答解説
33	カルテ14の解答解説	48	過去問題4月分 ③④
34	点検レセプト外来 カルテ15	49	過去問題4月分③④ 解答解説
35	カルテ15の解答解説	50	過去問題5月分 ①②
36	点検レセプト入院 カルテ1	51	過去問題5月分 ①② 解答解説
37	カルテ1の解答解説	52	過去問題5月分 ③④
38	点検レセプト入院 カルテ2	53	過去問題5月分 ③④ 解答解説
39	カルテ2の解答解説	54	過去問題6月分 ①②
40	点検レセプト入院 カルテ3	55	過去問題6月分 ①② 解答解説
41	カルテ3の解答解説	56	過去問題6月分 ③④
42	点検レセプト入院 カルテ4	57	過去問題6月分 ③④ 解答解説
43	カルテ4の解答解説	58	過去問題7月分 ①②
44	点検レセプト入院 カルテ5	59	過去問題7月分 ①② 解答解説
45	カルテ5の解答解説	60	期末考査
<b>講義方法</b>			
プリントを配布 適宜、グループ学習			
<b>履修上の注意事項</b>			
・授業には休まず出席すること。			
<b>成績評価方法</b>			
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。			
<b>教科書</b>			
医科診療点数早見表			
<b>参考書</b>			
特になし			
<b>予習復習のアドバイス</b>			
特に予習復習なし 復習を行い、難しい用語、点数算定は正確にできるようその都度習得すること。			

## 講義要項（シラバス）

<b>年 度</b>	2019年度	<b>時 期</b>	前期		
<b>学 科</b>	医療情報管理科	<b>学 年</b>	2学年		
<b>科目名</b>	臨床医学Ⅰ	<b>講義時間</b>	時間割参照		
		<b>講義曜日</b>	時間割参照	<b>講義回数</b>	20
<b>講師名</b>	太田 利佳	<b>単位時間数</b>	30	<b>単位数</b>	1
<b>講義目標</b>	<b>一般目標</b>				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				
<b>回数</b>	<b>講義内容</b>		<b>回数</b>	<b>講義内容</b>	
1	第1節 内科学的総論 (P1～P5)		11	第6節 代謝性および内分泌系疾患 (P32～P35)	
2	第2節 循環器疾患 (P6～P8)		12	第7節 泌尿器疾患 (P35～39)	
3	第2節 循環器疾患 (P9～P12)		13	第8節 アレルギー性疾患 (P39～P40)	
4	第3節 血液疾患 (P13～P16)		14	第9節 自己免疫疾患及び膠原病 (P41～P42)	
5	第4節 呼吸器疾患 (P17～P19)		15	第9節 自己免疫疾患及び膠原病 (P42～P43)	
6	第4節 呼吸器疾患 (P20～P22)		16	第10節 神経系疾患 (P44～P46)	
7	第5節 消化器疾患 (P23～P25)		17	第10節 神経系疾患 (P47～P49)	
8	第5節 消化器疾患 (P26～P28)		18	第11節 感染症 (P50～P53) ※続きは後期へ	
9	第5節 消化器疾患 (P26～P28)		19	前期復習小テスト	
10	第11節 感染症 (P27～P31)		20	期末考査	
<b>講義方法</b>					
教科書をメインとしながら、適宜参考資料のプリントを配布					
<b>履修上の注意事項</b>					
・授業には休まず出席すること。					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
臨床医学Ⅰ					
<b>予習復習のアドバイス</b>					
授業前に教科書を読んでおくこと。					
授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	D P C 演習	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	DPC（診断群分類）による入院料の包括支払制度を理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	DPCの基礎となる診断群分類をマスターする。 入院期間別点数を理解する。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、DPCの概要	11	3、診断群分類番号の構成
2	1、①診断群分類とは	12	3、①傷病名「MDC」「コード」
3	1、②DPC/PDPS導入の背景	13	3、②入院目的
4	1、③対象となる医療機関・病棟	14	3、③年齢・出生体重等
5	1、④対象となる患者・対象とならない患者	15	3、④診療行為、⑤手術処置1
6	2、ツリー図・定義テーブルによる診断群分類の決定	16	3、⑥手術処置2 ⑦副傷病
7	2、①包括評価の対象となる診断群分類	17	3、⑧重症度等
8	2、②包括評価の対象とならない診断群分類	18	4、診療報酬額の算定方法
9	2、③傷病名の決定	19	4、①所定点数に包括されるもの
10	2、④ツリー図と定義テーブルを用いて診断群分類を決定	20	4、②入院期間に応じた点数の設定

回数	講義内容	回数	講義内容
21	4、③医療機関別係数	31	5、④コーディングデータの提出
22	4、④特定入院料の取り扱い	32	DPC演習問題①～④ (計算および包括評価部分記載練習)
23	4、⑤診断群分類等に変更があった場合等の 取り扱い	33	DPC演習問題⑤～⑦ (計算および包括評価部分記載練習)
24	4、⑥同一傷病での再入院に係る取扱い	34	DPC演習問題⑧～⑩ (計算および包括評価部分記載練習)
25	4、⑦その他の注意点	35	DPC演習問題11、12 (計算および包括評価部分記載練習)
26	5、診療報酬額の請求とレセプトの記載	36	DPC演習問題13、14 (計算および包括評価部分記載練習)
27	5、①包括評価部分欄の記載要領	37	DPC演習問題15、16 (計算および包括評価部分記載練習)
28	5、②DPCレセプト記載要領の一般的事項	38	DPC総合演習問題 1、2 (DPC用レセプト作成・出力)
29	5、③DPCレセプト各欄の記載方法	39	DPC総合演習問題 3、4 (DPC用レセプト作成・出力)
30	5、④コーディングデータの提出	40	期末考査

<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習
<b>講義で使用する機器・教材</b> 必要に応じてipadを使用する。
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> DPC点数早見表
<b>予習復習のアドバイス</b> 各DPC演習問題については、小テストを行うため 不明な点は、その都度確認し質問すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	医療事務Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療事務職員としての資質を高め、点数表や計算を正確に行う。				
	<b>到達目標</b>				
	医療従事者としての点数計算を身に付ける。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	<最新問題と受験対策> 基礎演習・実技問題 カルテ例1、例2	11	P22～24 基礎問題・学科
2	基礎演習・実技問題 カルテ例3	12	P25～26 基礎問題・学科
3	基礎演習・実技問題 カルテ例4	13	試験対策問題 P30～P33
4	基礎演習・実技問題 カルテ例5	14	試験対策問題 P34～P36
5	基礎演習・実技問題 カルテ例5	15	試験対策問題 P37～P39
6	基礎演習・実技問題 カルテ例6	16	試験対策問題 P40～P42
7	基礎演習・実技問題 カルテ例7	17	試験対策問題 P43～P46
8	基礎演習・実技問題 カルテ例8	18	<受験対策と予想問題> オリジナル学科問題 P74～P77
9	基礎演習・実技問題 カルテ例9	19	オリジナル実技問題 P110～P116
10	基礎演習・実技問題 カルテ例10	20	オリジナル実技問題 P117～P125

回数	講義内容	回数	講義内容
21	オリジナル実技問題 P126～P130	31	第44回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題
22	オリジナル実技問題 P131～P136	32	第44回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技
23	第48回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	33	第43回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題
24	第48回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	34	第43回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技
25	第47回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	35	第42回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題
26	第47回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	36	第42回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技
27	第46回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	37	学科試験集中対策 P18～P37
28	第46回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	38	学科試験集中対策 P37～P57
29	第45回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/問題	39	学科試験集中対策 P64～P91
30	第45回診療報酬請求事務能力認定試験 医科/実技	40	期末試験

#### 講義方法

講義では、教科書を使用する。また、適宜、資料としてプリントを配布する。

#### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

医科診療点数早見表

#### 予習復習のアドバイス

特に予習復習なし

点数算定について正確に行い、不明点はそのままにせず、  
授業時間内、又は休み時間に確認すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	医事ソフトⅡ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	電子カルテの全体像を理解し、スムーズな入力ができるようにする。				
	<b>到達目標</b>				
	電子カルテシステムを理解する。 診断書などの文書作成の操作を理解する。 診療記録の代行入力での入りにミスがないように細心の注意を払う。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	1、電子カルテシステムの全体像	11	1 1、電子カルテシステムの定義 (日本医療情報学会の見解)
2	2、医療機関における業務処理フロー① (病院：外来の場合)	12	1 2、電子カルテシステムのメリット
3	3、医療機関における業務処理フロー② (病院：入院の場合)	13	1 3、電子カルテの機能
4	4、国策として推進されるIT化	14	1 4、電子カルテの型
5	5、診療録の法的要件と電子化への道	15	1 5、電子カルテの関連知識 (部門システム)
6	6、診療録に関する法的要件	16	1 6、電子カルテの関連知識 (オーダリングシステム)
7	7、電子カルテに関する法的要件 (電子保存の3原則)	17	1 7、電子カルテの関連知識 (電子カルテシステムの基本的な機能)
8	8、電子カルテに関する法的要件 (診療録の外部保存の容認)	18	1 8、ユーザー認証、アクセス権限管理・アクセスログ管理
9	9、医療情報システム発展の中での位置づけ	19	1 9、確定保存と確定操作、問診票の入力
10	1 0、電子カルテの定義 (保健医療福祉情報システム工業会の見解)	20	2 0、電子カルテの記載方法、入力支援ツール

回数	講義内容	回数	講義内容
21	2 1、レセプト電算処理システム	31	3 1、④病院（入院）
22	2 2、オンライン請求システム	32	3 2、システム管理等
23	2 3、医療情報の標準化	33	3 3、文書作成
24	2 4、プライバシー保護とセキュリティ	34	3 4、演習問題①診療所：外来（第1号～第3号）
25	2 5、第三者評価、認証制度等	35	3 5、演習問題②診療所：外来（第4号～第7号）
26	2 6、地域医療情報システム、電子カルテシステムの今後の課題	36	3 6、演習問題③病院：外来（第1号～4号）
27	2 7、電子カルテソフトの操作方法Ⅰ	37	3 7、演習問題④病院：外来（第1号～第4号）
28	2 8、①システムの全体像	38	3 8、演習問題⑤病院：外来（第5号～第8号）
29	2 9、②診療所（外来）	39	3 9、演習問題⑥病院：外来（第9号～第11号）
30	2 9、②診療所（外来）	40	期末考査

<b>講義方法</b> プリントを配布
<b>講義で使用する機器・教材</b> PC、電子カルテソフト、プロジェクター
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。
<b>教科書</b> 電子カルテシステムの理解と演習
<b>予習復習のアドバイス</b> 特に予習復習なし 電子カルテシステムを正確に入力できるようその都度習得すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	1学年		
科目名	病院管理学	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	病院経営に関連する事項などを学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院管理についての役割 病院組織の重要性 医療サービスの特質性				
回数	講義内容		回数	講義内容	
1	第1章 病院の発達（第1、2節） 第2章 病院管理学（第1、2、3節）		11	第7章 病院業務（第4、5節）	
2	第3章 病院の定義と機能（第1、2、3節）		12	第8章 病院と管理者（第1、2、3節）	
3	第3章 病院の定義と機能（第4、5節）		13	第9章 病院と社会とパブリックリレーションズ（第1、2節）	
4	第1～3章 確認テスト①		14	第7～9章 確認テスト③	
5	第4章 病院の組織（第1、2、3節）		15	第10章 医療の質の評価（第1、2節）	
6	第5章 医療サービスの特質（第1、2節）		16	第11章 病院会計と病院会計準則（第1、2節）	
7	第6章 経営管理論（第1、2、3節）		17	第12章 院愛感染管理（第1、2、3、4節）	
8	第6章 経営管理論（第4、5節）		18	第10～12章 確認テスト④	
9	第4～6章 確認テスト②		19	第13章 病院医療の最近の動向（第1、2、3節）	
10	第7章 病院業務（第1、2、3節）		20	期末考査	
<b>講義方法</b>					
プリントを配布 適宜、グループ学習					
<b>講義で使用する機器・教材</b>					
ipadを使用する					
<b>履修上の注意事項</b>					
・授業には休まず出席すること。					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
病院管理学					
<b>予習復習のアドバイス</b>					
特に予習復習なし 各章ごとに小テストを行うため、毎回の授業で板書をしっかり行うこと。					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	1学年		
科目名	コーディングⅠ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	診断群分類表を使い、病名のコードを正確に判断できるようにする。				
	<b>到達目標</b>				
	ICD-10を正確に索引する。 病名の理解、読み方を正確にする。 検定問題を含め診断群分類をマスターする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1編 疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10の準拠の引き方	11	VII、眼および付属器の疾患（練習問題）
2	I、内容の構成（1～3）	12	VIII、耳および乳様突起の疾患（練習問題）
3	II、使用されている記号、符号（1～3） III、主病名の決め方（1～4）	13	IX、循環器系の疾患（練習問題）
4	第2編 病名コーディングの仕方	14	X、呼吸器系の疾患（練習問題）
5	I、感染症および寄生虫症（練習問題）	15	XI、消化器系の疾患（練習問題）
6	II、新生物（練習問題）	16	XII、皮膚および皮下組織の疾患（練習問題）
7	III、血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構 の障害（練習問題）	17	XIII、筋骨格系および結合組織の疾患 （練習問題）
8	IV、内分泌、栄養および代謝疾患（練習問 題）	18	病名・診断名（読み方）のまとめ①
9	V、精神および行動の障害（練習問題）	19	病名（診断群分類）のまとめ
10	VI、神経系の疾患（練習問題）	20	期末考査

回数	講義内容	回数	講義内容
21	X IV、腎尿路生殖器系の疾患（練習問題）	31	VII～IX（診断群分類練習問題）③
22	X V、妊娠、分娩および産褥（練習問題）	32	X～XII（診断群分類練習問題）④
23	X VI、周産期に発生した病態（練習問題）	33	X III～X V（診断群分類練習問題）⑤
24	X VII、先天奇形、変形および染色体異常（練習問題）	34	X VI～X VIII（診断群分類練習問題）⑥
25	X VIII、症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	35	X IX～X X I（診断群分類練習問題）⑦
26	X IX、損傷、中毒およびその他の外因の影響（練習問題）	36	第3編 診療記録にICDコード分類を行う際の留意事項
27	X X、傷害および死亡の外因（練習問題）	37	I、任意的追加コードについて II、新生物の記載と分類について
28	X X I、健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用（練習問題）	38	III、診療内容を理解するための診療記録の読み方
29	I～III（診断群分類練習問題）①	39	期末考査対策：まとめ
30	IV～VI（診断群分類練習問題）②	40	期末考査

#### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

#### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

診療情報管理のためのICD10病名コーディングの実際

#### 予習復習のアドバイス

特に予習復習なし  
配布される診断群分類表を使い、各章ごとに復習を行うこと。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	医療秘書	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療における患者さんや、その家族の方々との「接遇・接遇対応マナー」は医師をはじめ、それぞれの目の前にいる患者さんに対して肉体的・精神的な辛さをわかろうと努力できる姿勢を身に付ける。				
	<b>到達目標</b>				
	医療従事者としての態度や言葉遣いを身に付ける。 院内の取り決めをも守り、柔軟な対応を身に付ける。				
回数	講義内容	回数	講義内容		
1	1、職場における人間関係の重要性	11	1 1、事務文書の書き方・作り方		
2	2、組織人・医療人としての基本	12	1 2、院内におけるエレベーターでのマナー		
3	3、職場の基本的ルールとエチケットマナー	13	1 3、院内での指示・命令の受け方と報告の仕方		
4	4、接患・接遇対応の基本	14	1 4、医療ミス・医療事故等を防止するための院内活動		
5	5、接患・接遇対応の実践	15	1 5、受付・会計・薬局などの窓口対応		
6	6、病医院職員の服装と身だしなみ	16	1 6、こんな時どうする？実践編①受付窓口で		
7	7、院内における正しい姿勢と執務の態度	17	1 7、実践編②待合室で		
8	8、院内での言葉の使い方と話し方	18	1 8、実践編③薬局窓口で		
9	9、敬語の使い方演習問題	19	1 9、個人情報保護法～医療従事者として①		
10	1 0、院内における電話の受け方・かけ方	20	期末考査		
<b>講義方法</b> プリントを配布 適宜、グループ学習					
<b>講義で使用する機器・教材</b> ipadを使用					
<b>履修上の注意事項</b> ・授業には休まず出席すること。 ・教科書はラインを引くなど、重要ポイント・用語が分かりやすいように、自分なりに作り上げること。 ・理解できない部分については質問をし、その日のうちに解決すること。					
<b>成績評価方法</b> 授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b> 医療事務スタッフのためのケア・コミュニケーション					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	前期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	コーディングⅡ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療技術の進歩とともに、医療現場の拡大、複雑化、多様化が進み、医療従事者の専門分化と部署の独立、中央化が広がってきているため、その対応をや役				
	<b>到達目標</b>				
	診療記録の中で、受診目的となった疾病を読み取る力をつける。 分類実務を行うことでコーディング技術を身に付ける。 ※診療情報管理技能認定試験：年3回（5月、9月、1月）				
回数	講義内容		回数	講義内容	
1	第3巻 疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-10の準拠の引き方①		11	コーディングの練習9 丸括弧（補足的用語）に注意する。	
2	第3巻 疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD-11の準拠の引き方②		12	コーディングの練習10 山括弧（和訳した英語の言語を示す時や他に別の表現や漢字があった場合）に注意する。	
3	コーディングの練習1 内容例示表の使い方		13	コーディングの練習11 []、・－（広い意味の説明全般）に注意する。	
4	コーディングの練習2 内容例示表の使い方		14	コーディングの練習12 「包含」「除外」（以下のものを含める・具体的な定義）に注意する。	
5	コーディングの練習3 病名のキーワードを探し検索する		15	コーディングの練習13 「・・・を参照」（この指示に従い別の用語を探す必要）に注意する	
6	コーディングの練習4 病名のキーワードを探し検索する		16	コーディングの練習14 「および/または」（AかつB、AあるいはB）に注意する	
7	コーディングの練習5 NOS（詳細不明）に注意する。		17	コーディングの練習15 「伴う、～における」（二つの病態を1つのコードで表す時）に注意する	
8	コーディングの練習6 NEC（他に分類されない）に注意する。		18	コーディングの練習16 「～を起こした、～による」（原因と結果を表すとき）に注意する	
9	コーディングの練習7 「：」（単語を連結させる）に注意する。		19	コーディングの練習17 （複合コードに注意する）	
10	コーディングの練習8 中括弧（用語の繰り返し）に注意する。		20	コーディングの練習18（剣印、星印に注意）	

回数	講義内容	回数	講義内容
21	コーディングの練習19 (任意的追加コードの取扱いに注意)	31	コーディングの練習29 神経系の疾患
22	コーディングの練習20 (病名が急性と慢性の両方を含む場合に注意)	32	コーディングの練習30 眼および付属器の疾患
23	コーディングの練習21 (続発性・後遺症注意)	33	コーディングの練習31 耳および乳様突起の疾患
24	コーディングの練習22 (疑診病名・主病名・追加病名)	34	コーディングの練習32 循環器系の疾患
25	コーディングの練習23 (術後の病態および合併症・新生物)	35	コーディングの練習33 呼吸器系の疾患
26	コーディングの練習24 感染症および寄生虫症	36	コーディングの練習34 消化器系の疾患
27	コーディングの練習25 新生物	37	コーディングの練習35 皮膚および皮下組織の疾患
28	コーディングの練習26 血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	38	コーディングの練習36 筋骨格系および結合組織の疾患
29	コーディングの練習27 内分泌、栄養および代謝疾患	39	コーディングの練習37 腎尿路生殖器系の疾患
30	コーディングの練習28 精神および行動の障害	40	期末試験

### 講義方法

座学

### 講義で使用する機器・教材

ipadを適宜使用する。

### 履修上の注意事項

- ・ 授業には休まず出席すること
- ・ 1年次の基礎課程が必要とされ、診断群の分類を正確にすること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

疾病、傷害及び死因の統計分類提要ICD準拠（1巻、3巻）

### 予習復習のアドバイス

- ・ 各分類ごとに病名をまとめ、索引表を使用してコーディングをし復習すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	診療情報管理総合演習	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	80
講師名	太田 利佳	単位時間数	120	単位数	4
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療情報管理の基礎を身に付け、医療機関などで即戦力となるべき力をつける。				
	<b>到達目標</b>				
	実務に活かせる知識を学び、就職後に医療情報技師の資格を取得できるよう学習する。				
回数	講義内容	回数	講義内容		
1	I-1医療関連法規 1) 医療法 2) 医療保険に関する法律	16	I-3保健医療福祉専門職の種類 16) 診療情報管理士 17) 医療情報技師		
2	I-1医療関連法規 3) 保健医療機関及び保険医療負担規則	17	I-4健康指標と予防医学 1) 健康指標 7) 予防医学		
3	I-1医療関連法規 4) 介護保険法	18	I-5救急医療と災害時医療 1) 救急医療 7) 災害時医療		
4	I-1医療関連法規 5) 保健医療福祉専門職の資格法	19	II-1病院業務と診療体制と業務 1) 診療部門 2) 薬剤部門		
5	I-1医療関連法規 5) 保健医療福祉専門職の資格法	20	II-1病院業務と診療体制と業務 3) 看護部門 4) 医事会計部門		
6	I-1医療関連法規 6) 医薬品医療機器など法	21	II-1病院業務と診療体制と業務 5) 中央診療部門 6) チーム医療		
7	I-2保健医療福祉制度行政組織 1) 医療制度の変遷 2) 医療保険制度と関連機関	22	II-1病院業務と診療体制と業務 7) 運営管理部門		
8	I-3保健医療福祉専門職の種類 1) 医師法・歯科医師法 2) 保健師助産師看護師法	23	II-2診療の過程 1) 患者の分類と診療の過程 2) 指示・命令系統		
9	I-3保健医療福祉専門職の種類 3) 保健師助産師看護師法	24	II-2診療の過程 3) クリニカルパス 4) 医事会計部門		
10	I-3保健医療福祉専門職の種類 4) 薬剤師法 5) 放射線技師法	25	II-3病院の運営と管理 1) 病院管理の概念 2) 経営指標		
11	I-3保健医療福祉専門職の種類 6) 臨床検査技師等に関する法律 7) 理学療法士及び作業療法士法	26	II-2診療の過程 3) クリニカルパス 4) 診療ガイドライン		
12	I-3保健医療福祉専門職種類 8) 視能訓練士法 9) 管理栄養士法	27	II-3病院の運営と管理 1) 病院管理の概念		
13	I-3保健医療福祉専門職の種類 10) 臨床工学士法 11) 社会福祉士及び介護福祉士法	28	II-3病院の運営と管理 2) 経営指標		
14	I-3保健医療福祉専門職の種類 12) MSW 13) 精神保健福祉士法	29	II-3病院の運営と管理 3) 病院の財務 4) 医療の評価		
15	I-3保健医療福祉専門職の種類 14) ケアマネージャー15) 救急救命士	30	II-4安全で適切な管理 1) 医療安全管理 2) 医療事故などの概念		

回数	講義内容	回数	講義内容
31	II-4安全で適切な管理 3) ヒヤリハット事例収集の重要性 4) 事例分析のための概念	46	IV-2ハードウェアの種類と機能 7) デスクトップPCの内部とインターフェイス 8) 携帯端末
32	III-1診療情報の特性と医療の情報倫理 1) 診療録と診療記録	47	IV-2ハードウェアの種類と機能 9) サーバ、クライアント、クラウドコンピューティング
33	III-1診療情報の特性と医療の情報倫理 2) 診療記録の記載法	48	IV-2ハードウェアの種類と機能 10) NAISとRAID 12) 無停電電源装置
34	III-2医療情報の特性と利用 1) 医療現場で扱うさまざまな情報 2) 医療情報の特性	49	IV-3ソフトウェアの種類と基礎 1) オペレーティングシステム 2) アプリケーションソフトウェア
35	III-2医療情報の特性と利用 3) 医療情報の利用	50	IV-3ソフトウェアの種類と基礎 3) アプリケーションソフトウェアの入力方法 5) マークアップ言語
36	III-3医の倫理 1) 基本的医の倫理と患者の権利 2) 医学研究の倫理	51	V-1ネットワークの利用 1) コンピュータネットワーク 2) ネットワーを利用したシステム
37	III-3医の倫理 3) インフォームドコンセント 4) セカンドオピニオン	52	V-1ネットワークの利用 3) ネットワーク機器 4) クラウドコンピューティング
38	III-3医の倫理 5) リビングウィル 6) ターミナルケア	53	V-2データベースの利用 1) データベース 2) データベース管理システム
39	III-4医療の情報倫理 1) 医療による情報倫理 2) 医療におけるプライバシー保護	54	V-2データベースの利用 3) SQL 4) データベースのファイル 5) バックアップとリカバリ
40	III-4医療の情報倫理 3) プライバシー保護のための法制度 4) OECDプライバシーガイドライン	55	V-3情報セキュリティノ脅威と対策 1) 情報セキュリティの要素 2) 情報セキュリティの対象
41	III-4医療の情報倫理 5) 個人情報保護法 6) 診療情報の開示	56	V-3情報セキュリティノ脅威と対策 3) 技術的脅威 4) 技術的対策
42	IV-1情報の表現 1) 情報の単位 2) 文字コード 3) アナログとデジタル	57	V-4ユーザ管理 1) ユーザ管理の対象 2) ユーザ管理の手法
43	IV-1情報の表現 4) データ形式 5) データの圧縮	58	V-4ユーザ管理 3) アクセス管理 4) ユーザ認証 5) ユーザ教育
44	IV-2ハードウェアの種類と機能 1) 五大装置 2) 制御装置と演算装置	59	VI-1病院情報システム 1) 概要 2) 全体に関わるシステム3) 部門システム
45	IV-2ハードウェアの種類と機能 3) 記憶装置 4) 演算装置 5) 出力装置 6) 解像度	60	VI-2地域医療情報システムと保健福祉情報システム 1) 概要 2) 診療所のシステム

61	VI-2地域医療情報システムと保健福祉情報システム 1) 概要 2) 診療所のシステム	71	VII-2情報の分析と評価 1) データの尺度 2) データ（変数）の性質
62	VI-2地域医療情報システムと保健福祉情報システム 3) 介護関連システム	72	VII-2情報の分析と評価 3) データの図示による記述 4) データの基本統計量による記述
63	VI-2地域医療情報システムと保健福祉情報システム 4) 保健福祉領域システム	73	VII-2情報の分析と評価 5) 推測統計学の基礎 6) 巨大なデータに対する分析
64	VI-2地域医療情報システムと保健福祉情報システム 5) 地域医療連携に関わるシステム	74	検定試験問題 第10回
65	VI-2地域医療情報システムと保健福祉情報システム 6) 遠隔医療 7) 生涯健康医療電子記録	75	検定試験問題 第11回
66	VI-3医療情報システムの管理	76	検定試験問題 第12回
67	VII-1医療情報の標準化 1) 標準化に関する一般知識 2) 医療情報に関する標準化	77	検定試験問題 第13回
68	VII-1医療情報の標準化 3) 医療情報分野の標準化関連組織 4) 標準化関連組織間の連携	78	検定試験問題 第14回
69	VII-1医療情報の標準化 5) 主要な医療情報の企画・コード 6) 主要な医療情報の企画・メッセージ	79	検定試験問題 第15回
70	VII-1医療情報の標準化 7) 自動認識技術に関する企画	80	期末試験

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

医療情報の基礎知識

### 予習復習のアドバイス

毎回の單元ごとに復習をすること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	コーディングⅢ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	前期継続として医療技術の進歩とともに、医療現場の拡大、複雑化、多様化が進み、医療従事者の専門分化と部署の独立、中央化が広がってきているため、				
	<b>到達目標</b>				
	診療記録の中で、受診目的となった疾病を読み取る力をつけ、前期よりも、多くの病名コーディングを行う。 分類実務を行うことでコーディング技術を身に付ける。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	コーディング応用問題1 感染症および寄生虫症	11	コーディング応用問題11 耳および乳様突起の疾患
2	コーディング応用問題2 感染症および寄生虫症	12	コーディング応用問題12 耳および乳様突起の疾患
3	コーディング応用問題3 新生物	13	コーディング応用問題13 循環器系の疾患
4	コーディング応用問題4 新生物	14	コーディング応用問題14 循環器系の疾患
5	コーディング応用問題5 内分泌、栄養および代謝疾患	15	コーディング応用問題15 吸器系の疾患
6	コーディング応用問題6 内分泌、栄養および代謝疾患	16	コーディング応用問題16 吸器系の疾患
7	コーディング応用問題7 精神および行動の障害	17	コーディング応用問題17 消化器系の疾患
8	コーディング応用問題8 精神および行動の障害	18	コーディング応用問題18 消化器系の疾患
9	コーディング応用問題9 眼および付属器の疾患	19	コーディング応用問題19 皮膚および皮下組織の疾患
10	コーディング応用問題10 眼および付属器の疾患	20	コーディング応用問題20 皮膚および皮下組織の疾患

回数	講義内容	回数	講義内容
21	コーディング応用問題21 筋骨格系および結合組織の疾患	31	コーディング応用問題31 症状、徴候および異常臨床所見
22	コーディング応用問題22 筋骨格系および結合組織の疾患	32	コーディング応用問題32 症状、徴候および異常臨床所見
23	コーディング応用問題23 腎尿路生殖器系の疾患	33	コーディング応用問題33 損傷、中毒およびその他の外因の影響
24	コーディング応用問題24 腎尿路生殖器系の疾患	34	コーディング応用問題34 損傷、中毒およびその他の外因の影響
25	コーディング応用問題25 妊娠、分娩および産褥	35	コーディング応用問題35 傷病および志望の外因
26	コーディング応用問題26 妊娠、分娩および産褥	36	コーディング応用問題36 傷病および志望の外因
27	コーディング応用問題27 周産期に発生した病態	37	コーディング応用問題1 まとめ
28	コーディング応用問題28 周産期に発生した病態	38	コーディング応用問題2 まとめ
29	コーディング応用問題29 先天奇形、変形および染色体異常	39	コーディング応用問題3 まとめ
30	コーディング応用問題30 先天奇形、変形および染色体異常	40	期末考査

#### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

#### 履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

疾病、傷害及び死因の統計分類提要ICD準拠（1巻、3巻）

#### 予習復習のアドバイス

- ・各分類ごとに病名をまとめ、索引表を使用してコーディングをし復習すること。

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	カルテ管理Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	20
講師名	鈴木 郁子	単位時間数	30	単位数	1
講義目標	<b>一般目標</b>				
	前期継続として医療技術の進歩とともに、医療現場の拡大、複雑化、多様化が進み、医療従事者の専門分化と部署の独立、中央化が広がってきているため、				
	<b>到達目標</b>				
	過去問題を多く履修し、診療報酬能力認定試験検定合格につなげる。				
回数	講義内容	回数	講義内容		
1	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 (学科：コーディング関連)	11	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 1 (学科：診療情報管理関連)		
2	診療情報管理技能認定試験練習問題 2 (学科：コーディング関連)	12	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 2 (学科：診療情報管理関連)		
3	診療情報管理技能認定試験練習問題 3 (学科：コーディング関連)	13	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 3 (学科：診療情報管理関連)		
4	診療情報管理技能認定試験練習問題 4 (学科：コーディング関連)	14	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 4 (学科：診療情報管理関連)		
5	診療情報管理技能認定試験練習問題 5 (学科：コーディング関連)	15	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 5 (学科：診療情報管理関連)		
6	診療情報管理技能認定試験練習問題 6 (学科：臨床医学関連)	16	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 6 (学科：病院管理学関連)		
7	診療情報管理技能認定試験練習問題 7 (学科：臨床医学関連)	17	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 7 (学科：病院管理学関連)		
8	診療情報管理技能認定試験練習問題 8 (学科：臨床医学関連)	18	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 8 (学科：病院管理学関連)		
9	診療情報管理技能認定試験練習問題 9 (学科：臨床医学関連)	19	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 9 (学科：病院管理学関連)		
10	診療情報管理技能認定試験練習問題 1 0 (学科：臨床医学関連)	20	期末考査		
<b>講義方法</b>					
プリントを配布					
<b>講義で使用する機器・教材</b>					
ipadを使用する。					
<b>履修上の注意事項</b>					
・授業には休まず出席すること。					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
適宜学科問題対応のテキスト					
<b>予習復習のアドバイス</b>					
病院管理管理学、診療情報管理関連など、各單元ごとに、用語をまとめること。					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	臨床医学Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	※前期からの引き続き 第11節 感染症（P54～P59）	11	第Ⅱ章小児科疾患 第10節代謝性および内分泌性疾患（P87～P89）
2	第Ⅱ章小児科疾患 （P60～P63）	12	第Ⅱ章小児科疾患 第11節 アレルギー性疾患（P90）
3	第Ⅱ章小児科疾患 （P64～P66）	13	第Ⅱ章小児科疾患 第12節 泌尿生殖器疾患（P91～P93）
4	第Ⅱ章小児科疾患 第3節 先天性奇形（P67～P68）	14	第Ⅱ章小児科疾患 第13節 神経系疾患（P94～P98）
5	第Ⅱ章小児科疾患 第4節 先天性代謝（P69～P70）	15	第Ⅱ章小児科疾患 第14節 染色体異常疾患（P98～P99）
6	第Ⅱ章小児科疾患 第5節 循環器疾患（P71～P74）	16	第Ⅱ章小児科疾患 第15節 小児期感染症（P100～P106）
7	第Ⅱ章小児科疾患 第6節 血液疾患（P75～P76）	17	第Ⅲ章外科疾患 第1節 外科学総論（P107～P114）
8	第Ⅱ章小児科疾患 第7節 呼吸器疾患（P76～P78）	18	第Ⅲ章外科疾患 第2節 外科的損傷（P114～P120）
9	第Ⅱ章小児科疾患 第8節 消化器疾患（P71～P74）	19	第Ⅲ章外科疾患 第2節 外科的損傷（P126～P132）
10	第Ⅱ章小児科疾患 第9節 栄養性疾患（P83～P86）	20	第Ⅲ章外科疾患 第3節 循環器外科疾患（P107～P114）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第Ⅲ章外科疾患 第4節 呼吸器外科疾患 (P 132～P 135)	31	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 162～P 165)
22	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 135～P 138)	32	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 165～P 166)
23	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 139～P 141)	33	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 166～P 167)
24	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 142～P 145)	34	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 167～P 168)
25	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 146～P 148)	35	第Ⅳ章整形外科疾患 第4節 筋および腱の疾患 (P 169～P 170)
26	第Ⅲ章外科疾患 第6節 内分泌腺外科疾患	36	第Ⅳ章整形外科疾患 第5節 神経系疾患 (P 171～P 173)
27	第Ⅲ章外科疾患 第7節 脳神経外科疾患 (P 150～P 153)	37	第Ⅳ章整形外科疾患 第4節 筋および腱の疾患 (P 168～P 170)
28	第Ⅳ章整形外科疾患 第1節 整形外科学総論 (P 154～P 157)	38	第Ⅳ章整形外科疾患 第5節 神経系疾患 (P 171～P 173)
29	第Ⅳ章整形外科疾患 第2節 骨の疾患 (P 157～P 160)	39	第Ⅴ章形成外科疾患 第1節 形成外科学総論 (P 174～P 177)
30	第Ⅳ章整形外科疾患 第2節 骨の疾患 (P 161～P 162)	40	期末考査

#### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

#### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

臨床医学Ⅰ(前期継続)

#### 予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。  
授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。

## 講義要項（シラバス）

<b>年 度</b>	2019年度	<b>時 期</b>	後期		
<b>学 科</b>	医療情報管理科	<b>学 年</b>	2学年		
<b>科目名</b>	業務概論	<b>講義時間</b>	時間割参照		
		<b>講義曜日</b>	時間割参照	<b>講義回数</b>	20
<b>講師名</b>	太田 利佳	<b>単位時間数</b>	30	<b>単位数</b>	1
<b>講義目標</b>	<b>一般目標</b>				
	医療文書を作成するにあたって医師事務作業補助作業を理解する。				
	<b>到達目標</b>				
	医師事務作業補助者の各文書作成業務、作成時の規則等を理解する。				
<b>回数</b>	<b>講義内容</b>	<b>回数</b>	<b>講義内容</b>		
1	医師事務作業補助者の定義	11	病院組織の特徴		
2	医師事務作業補助者の必要性	12	医師の業務		
3	役割分担通知とチーム医療通知	13	病院の概念、組織および設備		
4	医師事務作業補助体制加算	14	医薬品と医療機器		
5	医師事務作業補助業務の特徴	15	医師事務作業補助者の業務範囲		
6	体制加算ができた背景	16	診療録の代行入力		
7	人員基準	17	要因分析		
8	医師事務作業補助者の配置場所	18	医師法の確認①		
9	病院勤務医の負担軽減処遇改善	19	医師法の確認②		
10	院内規定の整備	20	期末考査試験		
<b>講義方法</b>					
プリントを配布 適宜、グループ学習					
<b>履修上の注意事項</b>					
・授業には休まず出席すること。					
<b>成績評価方法</b>					
授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。					
<b>教科書</b>					
医師事務作業補助者テキスト3					

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	医療文書	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	医療文書を作成するにあたって医師事務作業補助作業を理解する。 正しい文書の作成方法を学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	診断書や証明書、申請書の作成方法を身に付け、使用目的や提出先、様式・記載方法について 理解を深め、実務に活かせるようにする。 医師事務作業補助技能認定試験の合格を目指す。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	第1節 法的規制 第2節 一般的留意事項	11	第7節 医療要否意見書（生活保護）
2	第3節 診断書・証明書	12	第7節 医療要否意見書（生活保護）
3	第3節 診断書・証明書	13	第8節 休業補償給付支給請求書
4	第3節 診断書・証明書	14	第8節 休業補償給付支給請求書
5	第4節 傷病手当金	15	第9節自動車損害賠償責任保険診
6	第4節 傷病手当金	16	第9節 自動車損害賠償責任保険診
7	第5節 死亡診断書・死体検案書	17	第10節 治療用装具証明書
8	第5節 死亡診断書・死体検案書	18	第10節 治療用装具証明書
9	第6節 診療情報提供書	19	第11節 特定疾患医療受給者証交付申請書
10	第6節 診療情報提供書	20	第11節 特定疾患医療受給者証交付申請書

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第12節 主治医意見書（介護保険）	31	第3節 カルテ三原則 第3章個人情報保護第1節法律について
22	第12節 主治医意見書（介護保険）	32	第2節 個人情報について
23	（テキスト3） 第1章 医師事務作業補助業務について	33	第2節 個人情報について
24	第1章 医師事務作業補助業務について	34	第3節 個人情報保護法において義務付けられる7つのポイント
25	第1章 医師事務作業補助業務について	35	第4節 個人情報の流出、漏洩の原因 第5節 個人情報漏洩による罰則
26	第2章 診療録の記録・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	36	第6節 守秘義務の遵守
27	第2章 診療録の記録・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	37	第4章 医療機関における安全管理
28	第2章 診療録の記録・電子カルテ 第1節 診療録の記載について	38	検定試験対策練習問題
29	第2節 電子カルテについて	39	検定試験対策練習問題
30	第2節 電子カルテについて	40	期末考査試験

#### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

#### 履修上の注意事項

・授業には休まず出席すること。

#### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

#### 教科書

医師事務作業補助者テキスト4

## 講義要項（シラバス）

年 度	2019年度	時 期	後期		
学 科	医療情報管理科	学 年	2学年		
科目名	臨床医学Ⅱ	講義時間	時間割参照		
		講義曜日	時間割参照	講義回数	40
講師名	太田 利佳	単位時間数	60	単位数	2
講義目標	<b>一般目標</b>				
	臨床医学全般について検定内容も含め学習する。				
	<b>到達目標</b>				
	病院職員として必要な臨床医学の知識を習得し、実務に活かせるようにする。				

回数	講義内容	回数	講義内容
1	※前期からの引き続き 第11節 感染症（P54～P59）	11	第Ⅱ章小児科疾患 第10節代謝性および内分泌性疾患（P87～P89）
2	第Ⅱ章小児科疾患 （P60～P63）	12	第Ⅱ章小児科疾患 第11節 アレルギー性疾患（P90）
3	第Ⅱ章小児科疾患 （P64～P66）	13	第Ⅱ章小児科疾患 第12節 泌尿生殖器疾患（P91～P93）
4	第Ⅱ章小児科疾患 第3節 先天性奇形（P67～P68）	14	第Ⅱ章小児科疾患 第13節 神経系疾患（P94～P98）
5	第Ⅱ章小児科疾患 第4節 先天性代謝（P69～P70）	15	第Ⅱ章小児科疾患 第14節 染色体異常疾患（P98～P99）
6	第Ⅱ章小児科疾患 第5節 循環器疾患（P71～P74）	16	第Ⅱ章小児科疾患 第15節 小児期感染症（P100～P106）
7	第Ⅱ章小児科疾患 第6節 血液疾患（P75～P76）	17	第Ⅲ章外科疾患 第1節 外科学総論（P107～P114）
8	第Ⅱ章小児科疾患 第7節 呼吸器疾患（P76～P78）	18	第Ⅲ章外科疾患 第2節 外科的損傷（P114～P120）
9	第Ⅱ章小児科疾患 第8節 消化器疾患（P71～P74）	19	第Ⅲ章外科疾患 第2節 外科的損傷（P126～P132）
10	第Ⅱ章小児科疾患 第9節 栄養性疾患（P83～P86）	20	第Ⅲ章外科疾患 第3節 循環器外科疾患（P107～P114）

回数	講義内容	回数	講義内容
21	第Ⅲ章外科疾患 第4節 呼吸器外科疾患 (P 132～P 135)	31	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 162～P 165)
22	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 135～P 138)	32	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 165～P 166)
23	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 139～P 141)	33	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 166～P 167)
24	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 142～P 145)	34	第Ⅳ章整形外科疾患 第3節 関節の疾患 (P 167～P 168)
25	第Ⅲ章外科疾患 第5節 消化器外科疾患 (P 146～P 148)	35	第Ⅳ章整形外科疾患 第4節 筋および腱の疾患 (P 169～P 170)
26	第Ⅲ章外科疾患 第6節 内分泌腺外科疾患 (P 148～P 150)	36	第Ⅳ章整形外科疾患 第5節 神経系疾患 (P 171～P 173)
27	第Ⅲ章外科疾患 第7節 脳神経外科疾患 (P 150～P 153)	37	第Ⅳ章整形外科疾患 第4節 筋および腱の疾患 (P 168～P 170)
28	第Ⅳ章整形外科疾患 第1節 整形外科学総論 (P 154～P 157)	38	第Ⅳ章整形外科疾患 第5節 神経系疾患 (P 171～P 173)
29	第Ⅳ章整形外科疾患 第2節 骨の疾患 (P 157～P 160)	39	第Ⅴ章形成外科疾患 第1節 形成外科学総論 (P 174～P 177)
30	第Ⅳ章整形外科疾患 第2節 骨の疾患 (P 161～P 162)	40	期末考査

### 講義方法

プリントを配布  
適宜、グループ学習

### 履修上の注意事項

- ・授業には休まず出席すること。

### 成績評価方法

授業態度、内容、小テスト、出席状況を考慮して評価する。

### 教科書

臨床医学Ⅰ (前期継続)

### 予習復習のアドバイス

授業前に教科書を読んでおくこと。  
授業後は、教科書・ノートで重要事項の復習を行うこと。